

# 平成26年度 「大人が支える！インターネットセーフティの推進」実施要項

秋田県教育委員会

## 1 趣旨

スマートフォンをはじめとした携帯型インターネット機器の普及にともない、子どもたちのインターネット利用は身近になり、「ネットいじめ」や犯罪等、様々なトラブルに巻き込まれる危険性が問題となっている。

そこで、社会全体で子どもたちをインターネットによる有害情報やトラブル等から守り、インターネットを健全に利用できるように、安全で安心な利用環境を整える「インターネットセーフティ」を推進する。

## 2 実施主体

秋田県教育委員会（事務局：生涯学習課）

（協働：子どもたちのインターネット利用について考える研究会※1）

### ※1 子どもたちのインターネット利用について考える研究会（以後、「子どもネット研」）

子どもたちをインターネットの危険から守ることをねらい、リスク（防犯）教育や調査研究を実施するため2008年4月に設立された、民間が運営する研究会。

#### 【座長】

坂元 章（お茶の水女子大学 大学院人間文化創成科学研究科 人間科学系 教授）

#### 【事務局体制】

運営企業：ヤフー株式会社、ネットスター株式会社、アルプスシステムインテグレーション株式会社

協力企業：ピットクルー株式会社

## 3 実施期間

平成26年4月1日（火）から平成27年3月31日（火）

## 4 取組の対象

保護者、各PTA団体、地域住民、教員、社会教育関係団体、市町村家庭教育関係職員

## 5 取組の内容

### （1）インターネットセーフティ推進委員会の開催

①趣旨 インターネットセーフティを推進するため、各機関等と協議・情報共有を行う。

②委員構成 25名以内。

大学関係者、有識者、各PTA団体関係者、市町村関係者、学校関係者、青少年健全育成関係団体、民間団体、県警察本部少年課、男女共同参画課、教育庁関係各課 等

【事務局】生涯学習課

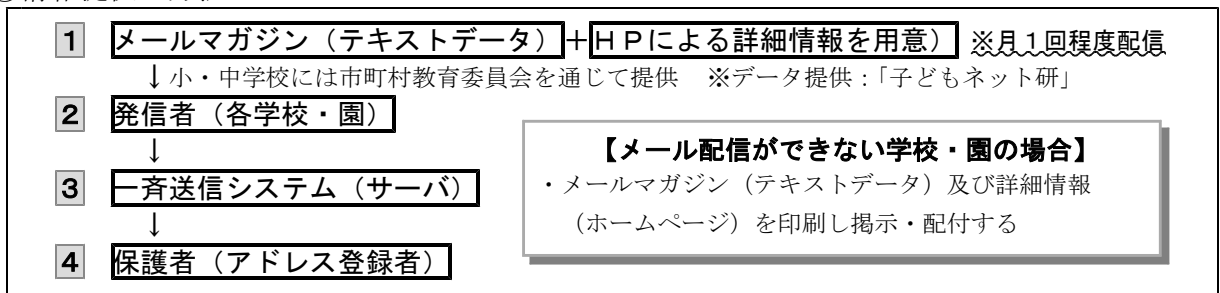
③委員会の開催回数 年2回。

## (2) 県及び団体の会合等で啓発促進

- ①趣旨 インターネットセーフティの取組を広く県民に周知するため、啓発促進に努める。
- ②内容 基調講演、事例紹介、意見交換等。  
フォーラムの開催（※県PTA研究大会にかほ大会との共同開催予定）、他。

## (3) 「保護者に直接届く」教育啓発コンテンツの提供 ※H26年度は「第4号」から配信

- ①趣旨 各学校・園の「一斉メール配信システム」を活用し、子どもたちのインターネット健全利用に関する情報を保護者に直接届けるためのモデルコンテンツ「インターネットセーフティメールマガジン」を「子どもネット研」との協働で作成し提供する。
- ②情報提供の方法



- ③年2回（春・秋）、活用状況調査により各校の活用実態を把握する。

## (4) 県庁出前講座（「子どもたちのインターネット健全利用」）の実施

- ①趣旨 保護者や教職員等を対象にインターネットセーフティの推進に係る意識啓発を行う。
- ②対象 ア) 県立学校、地域生徒指導研究推進研究協議会、PTA連合会等の比較的広域にわたる団体（担当：生涯学習課）  
イ) 小・中学校、小・中学校単位PTA等の比較的小規模な団体（担当：各教育事務所・出張所）
- ③内容 子どもたちのインターネット利用の実態やトラブルを知り、安全で安心なネット利用の環境づくりについて考える。
- ④回数 要請に応じて随時。

## (5) 「ネットに少し詳しい」地域サポーター養成講座の開催

- ①趣旨 中学校区程度のコミュニティで、保護者・教員等を対象に「ネットに少し詳しい大人」を増やす目的でモデル講座を実施し、インターネットセーフティの核となる人材を養成する。平成25年度から3年間で、県内9地区でモデル講座を実施する。
- ②対象 ア) 保護者・地域住民 イ) 教員等
- ③内容 地域の課題や実情に応じ、グループワーク等を取り入れた実践的な内容とする。  
ア) 保護者・地域住民・・・北（大館・北秋）、中央（男鹿・潟上・南秋）、南（湯沢・雄勝）で各4回シリーズの講座を開催。  
イ) 教員等・・・県内3会場で、それぞれ年1回の開催。
- ④その他 ・実施対象の中学校区でプレ講座（出前講座）を実施し、本取組の周知を図る。  
・各講座の詳細については、各地区の「講座運営委員会」で決定する。  
・前年度受講者へのフォローアップを実施する。

## 6 その他留意事項

- ・取組の詳細については、別途定める。
- ・関係各課所、機関等との連携推進のため、年2回程度、庁内担当者連絡会議を開催する。
- ・本事業の推進にあたり、関係機関・団体、関連事業等と積極的な連携に努めることとする。

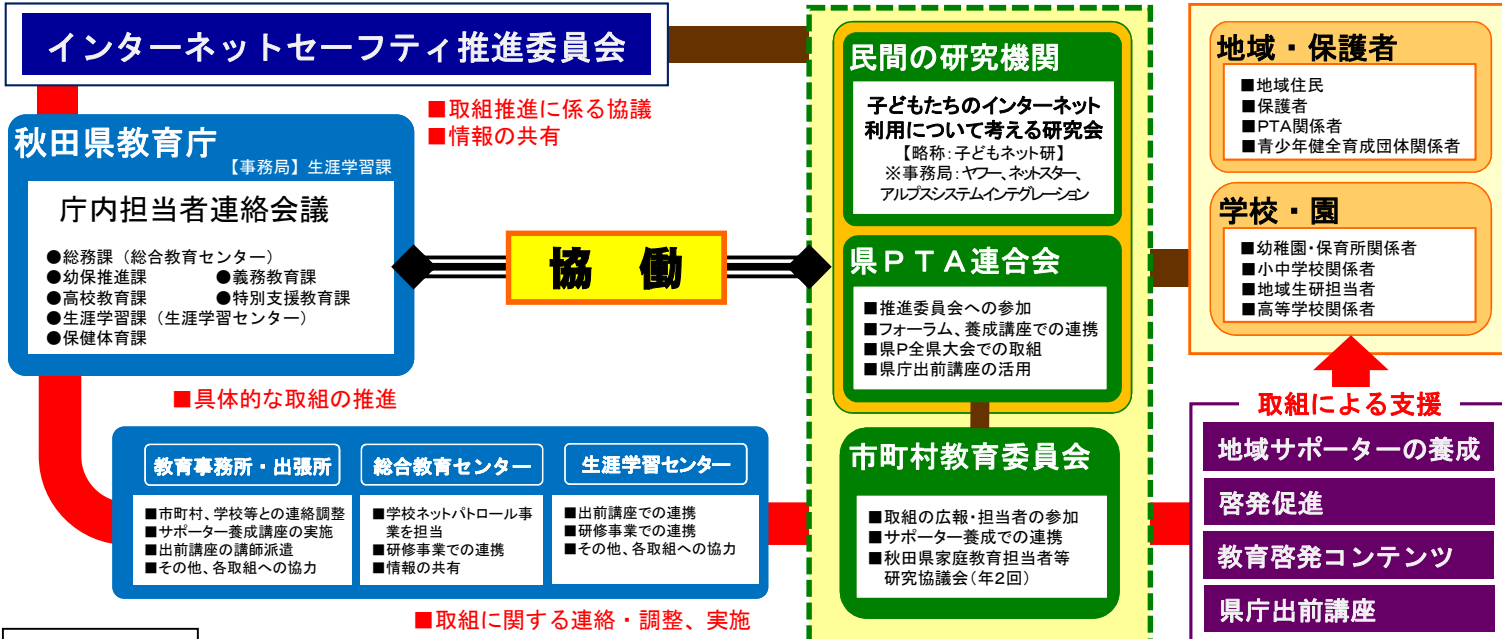
## ■取組スケジュール（予定）

取組方策	H26	H27	H28
○ インターネットセーフティ推進委員会の開催		→	
○ 県及び団体の会合等で啓発促進		→	
○ 「保護者に直接届く」教育啓発コンテンツの提供		→	
○ 県庁出前講座（「子どもたちのインターネット健全利用」）の実施			→
○ 「ネットに少し詳しい」地域サポーター養成講座の開催			→
【その他】・地域サポーター養成講座受講者へのフォローアップ			→
・啓発リーフレット『インターネットセーフティガイド』			→
・民間との協働、連携			→
		モデル講座の実施	
		市町村単独実施を支援	
		出前講座等で活用	

## ■年間スケジュール（予定）

	インターネットセーフティ推進委員会	啓発促進	教育啓発コンテンツ提供	県庁出前講座	地域サポーター養成講座
4月	・委員選定	<b>フォーラム</b> ・県Pと連絡調整 ・内容検討	・各号の作成、配信 <b>【月1回程度】</b>	・教材、内容検討 ※随時受け付け	関係機関・団体、学校等と連絡調整
5月	・案内発送				○講座運営委員会
6月	○庁内担当者連絡会議 ●第1回推進委員会			○担当職員研修①	（3地区で開催）
7月			※「子どもネット研」との協働により配信データを作成する。		・案内発送
8月		・案内発送			
9月					
10月			※活用状況調査を年2回（春・秋）実施する。	○担当職員研修②	※講座開催中学校区保護者を対象に、事前・事後アンケートを実施する。
11月		●開催			
12月	・案内発送 ○庁内担当者連絡会議	・まとめ、報告			
1月	●第2回推進委員会				
2月	・まとめ、報告	・次年度実施準備	・次年度実施準備		・次年度実施準備
3月	・次年度実施準備			・次年度実施準備	

推進体制



取組方策

**事業のポイント**

- 目標設定の見直し(「安全・防止」から「健全・活用」へ)
- 民間との協働による取組
- 「ネットに少し詳しい大人」の輪をひろげる

1 インターネットセーフティ推進委員会 年2回

委員	大学関係者	市町村関係者	国公幼PTA連絡協議会
	有識者	学校関係者	私立幼稚園連合会
	地域生研関係者	教育庁各課	県PTA連合会
	青少年健全育成団体関係者	生活環境部男女共同参画課	高等学校PTA連合会
	民間企業・団体関係者	県警察本部少年課	特別支援PTA連合会

【事務局】  
 ■生涯学習課関係職員 ■各教育事務所関係職員 ■生涯学習センター関係職員

2 県及び団体の会合等で啓発促進 随時

- 「インターネットセーフティ」啓発促進のためのフォーラムを開催
- 地域サポーター養成講座のフォローアップ ※事例紹介・意見交流等
- 取組の中間報告 ※県の取組紹介等

3 「保護者に直接届く」教育啓発コンテンツの提供 月1回程度

■学校の一斉メール配信システム等で、直接保護者に情報を届ける  
 ■メールによる新鮮で簡潔な文字情報+サイトでの詳細な情報提供で啓発

**メールマガジンによる簡潔な情報** + **ホームページによる詳細な情報**

■情報提供: 生涯学習課 ①  
 ○ネット利用に関する情報を文字で提供  
 ○より詳細情報な情報はホームページで提供  
 ○コンテンツは「子どもネット研」が作成  
 月1回程度配信

② 各校の実情に応じて時機を選んで配信  
 ③ 一斉メール配信システム  
 ④ アドレスを登録するすべての保護者

4 県庁出前講座 随時

- 保護者や教員等の要請に応じ、1講座60～90分程度で実施
- 対象や地域規模等に応じて、生涯学習課、各教育事務所・出張所等で講座を担当

5 「ネットに少し詳しい」地域サポーター養成講座の開催 3地区 6地域

- 趣旨: 中学校区程度のコミュニティで、「ネットに少し詳しい大人」を増やす
- 対象: 保護者・地域住民+教員
- 内容: 対象に応じて、実機体験・グループワーク等、実践的な内容を取り入れる
- 会場: 3年間に県内18地域を拠点にモデル実施→市町村の家庭教育支援事業にシフト

**スケジュール**

地区	H25	H26	H27
県北	鹿角	大館・北秋田	能代・山本
中央	秋田	男鹿・湯上・南秋	由利本荘・にかほ
県南	横手	湯沢・雄勝	大仙・仙北

**展開のイメージ**

**講座内容(1講座=120分×4コマ)** 講義90分+グループワーク30分

- 子どもたちのインターネット問題を正しく知ろう  
 活用かへの社会の期待/つながる機器/オンラインコミュニケーショントラブル等  
 気づきが得られる
- 人気サービスの実態と理想のネットデビュー  
 前回質問への解説/サービスの構造と注意点/段階的利用モデル等  
 仕組みが分かる
- 保護者管理機能と家庭での取組ヒント  
 前回質問への解説/保護者管理機能の実態/ネット利用での子どもとの接し方等  
 実践のヒント
- 取組実践の共有と今後の協働  
 前回質問への解説/取組の成功・失敗例の共有等  
 取組実践の共有

【講座の特色】  
 ★実機での例示 ★連続講座で背景・構造を理解  
 ★グループワークで情報共有 ★講座期間での取組実践

【会場】  
 地域の小・中学校 学校の機能を活用

**地域の核に!**

- 保護者
- 地域住民
- 青少年健全育成団体関係者

**対象1...保護者や地域の大人**

- 地域の相談役
- 市町村や町内等主催の講座を企画
- 家庭教育支援チームで活躍
- PTA研修会の開催
- 他地域との情報交流・連携

**学校の核に!**

- 担任
- 生徒指導主事
- 養護教諭

**対象2...学校関係者**

- 学校での相談役
- 保護者や地域への情報提供
- 各地域生研等で話題提供
- PTA研修会での講師
- 学校での情報モラル教育推進

- 地域内の関係機関との情報共有、連携・協力
- 福祉事務所
  - 警察署・少年サポートセンター
  - 消費者センター
  - 携帯電話事業者 等